

## 被災者の方30人が受診、インフルエンザ流行の懸念も

30人の被災者の方が受診しました。今日から一般の患者と受付・診察を分けずに診療していることから、その面での負担は大分軽くなりました。しかし、「薬が無くなったが名前は知らない」という方も多く、対応に時間がかかっています。インフルエンザの患者さんもお入り入院しましたが、避難所でのまん延が懸念されます。

本日も医師6人を中心にチームをつくり、避難場所訪問を行っています。かぜや胃腸炎の薬を持参し処方もして喜ばれています。



震災から2日間、回復期リハ棟は外来リハ室  
～専門外来前に移動。元気にすごしました。

## 東高校に炊き出し260人分

東高校の避難所から炊き出し260人分の要請がありました。栄養科で急きょご飯を炊いておにぎりを作り、農民連に野菜をと豚肉をいただいて高校の調理室でトン汁を作って振る舞いました。これには、突然のお願いにもかかわらず西元副理事長や渡利支部の運営委員さん、医師2人を含む職員など20人余りが参加。東高校の避難所に大型マイクロバスで向いました。「朝から食べていなかった」「温かい食べ物は初めて」と大感激されました。これはラジオの全国放送でも紹介されました。この支援は明日も続ける予定です。

昨夜と今朝、大型トラックで静岡の浜北医療生協から大量の支援物資が届きました。生協・わたり福祉会使用分以外の、子供用・大人用の紙オムツ、衣類、衛生用品などを小型マイクロバスに一杯に詰め込み、福島市・川俣町・二本松市・二本松東和、毛布が足りないとの情報を得た明成高校などに届けました。届先からは「助かります、ありがとうございます」と感謝されています。

今後も長野・尼崎の医療生協から届く予定です。

## 全国の医療生協から支援物資 各地の対策本部に届けています



三瓶久子理事から17人の運営委員さんを中心に電話で声をかけたとのFaxが入りました。様々な相談、原発事故への怒りが寄せられています。